

# 2004／年報

平成16年度

No.12

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



# はじめに

開館以来、今年度で12年目を経過いたしました。いま多くの資料館や博物館などの文化施設が入館者減少の状況をかかえつつ、また財政難であることは周知の通りであります。わたしどもの資料館は、小さな波はありますが、多くの考古ファンや児童・生徒のみなさんに支えられ、入館者の減少という悩みも少なく順調な歩みを続けて参りました。これもひとえに、地域の皆様方のお力によるものと厚く感謝申し上げます。

初秋に開かれる「縄文まつり」も年々盛大になり、各種の「体験教室」も新たなメニューを加え充実の途にあります。講演会やセミナーも新しい受講者を加え、年を追うごとにさかんになってきました。

本冊子は、年間の考古資料館の活動をまとめ、それにご利用なさる方の便宜のために諸資料を収録したものであります。お目通しいただければ幸いです。

今後とも地域にねぎし、多くの方々の知的ニーズにこたえ、児童・生徒の学習、生涯教育に寄与できる資料館として、その役割を果たしていく所存であります。なにとぞよろしくご指導のほどをお願い申し上げます。

2005年3月

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館  
館長 川崎利夫

# 目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	2
3. 展示の概要	4
(1) 常設展示及びテーマ展示	
(2) 第12回企画展	
4. 教育普及活動	6
(1) 公開講演会	
(2) 体験教室	
(3) 遺跡研修	
(4) うきたむ縄文まつり	
(5) 第6期「考古学セミナー」	
(6) 発掘調査検討会	
(7) 学校教育との連携	
(8) 学芸員実習	
(9) 「うきたむ考古の会」の事業	
5. 資料の活用	10
(1) 資料貸出	
(2) 写真利用	
(3) 資料館資料の特別利用	
(4) 刊行物一覧	
6. 入館状況	11
(1) 月別入館者一覧表	
(2) 主な入館団体一覧	
(3) 来観者アンケート	
7. 管理及び運営	13
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
8. 受贈図書・資料	14
(1) 柏倉亮吉資料	
(2) 佐藤庄一資料	
(3) 受贈図書	
9. 日誌抄	23
10. 利用案内	24

# 1. 施設の概要

## (1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

## (2) 沿革

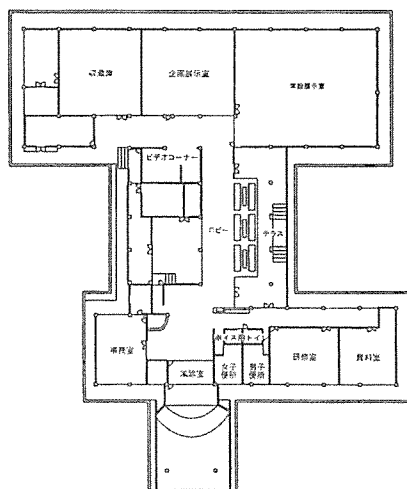
昭和51年度	第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和56年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和60年度	第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和61年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
平成2年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成3年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成4年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成5年度	考古資料館開館 4月23日

## (3) 施設

### ① 構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建 敷地面積：7,000m<sup>2</sup> 延床面積：1,358.24m<sup>2</sup>。

常設展示室	279.00m <sup>2</sup>	事務室	67.50m <sup>2</sup>
企画展示室	129.37m <sup>2</sup>	作業室・荷解室	51.75m <sup>2</sup>
収蔵庫（2層）	129.37m <sup>2</sup>	ロビー・ホール	336.85m <sup>2</sup>
研修室	125.70m <sup>2</sup>	その他（機械室等）	238.70m <sup>2</sup>



[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]

## 2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度 開館記念行事・記念講演「考古資料館に期待すること」文化庁 田中 琢氏  
第1回特別展「縄文の四季」  
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」  
第1回収蔵品展「押出遺跡とその周辺」  
第1回企画展「古墳と人々のくらし」  
講演会「末期古墳がつくられたころ」福島大学 工藤 雅樹氏  
第2回収蔵品展「最近発掘された置賜の遺跡から」
- 平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」  
講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」秋田埋文センター 富樫 泰時氏  
第3回収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」  
第1期やさしい考古学入門講座  
「縄文時代の人々と文化」日本考古学協会会員 佐藤 鎮雄氏他10回  
第3回企画展「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」  
講演会「中尊寺金色堂の視線」東北大学 入間田 宣夫氏  
第4回収蔵品展「古代の村とくらし」
- 平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」  
講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」青森県教育委員会 岡田 康博氏  
第5回収蔵品展「高島古墳時代」  
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」  
「縄文草創期・早期」山形埋文センター 佐々木 洋治氏他10回  
うきたむ考古の会設立 東北中世考古学会設立  
第4回企画展「やまがた古代の役所」  
味噌根窯跡の発掘調査（～12月上旬）  
講演会「古代出羽の役所」酒田市教育委員会 小野 忍氏  
第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」
- 平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」  
講演会「古代の窯業遺跡」国立歴史民俗博物館教授 吉岡 康暢氏  
第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」  
「弥生時代の遺跡を掘る」山形埋文センター 佐藤 庄一氏他10回  
第7回収蔵品展「縄文の四季」  
第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」  
講演会「縄文文化と現代」国立歴史民俗博物館 佐原 真氏  
第8回収蔵品展「土器のうつりかわり」
- 平成9年度 第6回企画展「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」  
テーマ展「考古資料からみた古代・中世」（企画展期間を除く）  
講演会「古代出羽の都」酒田中央高校 佐藤 禎宏氏  
講演会「縄文文化の魅力」國學院大学 小林 達雄氏  
第4期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」  
「大型住居跡を掘る」米沢市教育委員会 手塚 孝氏他5回
- 平成10年度 第7回企画展「やまがたの弥生文化—水田稲作の始まり—」  
テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）  
考古学入門講座「中世の考古学」  
「奥羽の中世世界」山形大学 伊藤 清郎氏他5回  
講演会「東北の弥生文化—その成立と展開—」東北大学 須藤 隆氏

- 平成11年度 第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」  
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）  
 考古学セミナー「やまがたの古墳とその時代」  
 「古墳時代の集落」 山形県立博物館 阿部 明彦氏他5回  
 講演会「日本の中の山形の古墳」 明治大学 大塚 初重氏  
 置賜地区遺跡発掘調査報告会
- 平成12年度 第9回企画展「縄文時代・最後の世界」  
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）  
 考古学セミナー「奈良・平安の考古学」  
 「飛鳥時代の東北」 福島県教育委員会 木本 元治氏他5回  
 講演会「縄文文化の最後の世界～東北・北陸の縄文晩期の文化」  
 明治大学 石川 日出志氏  
 2000年山形の発掘〈調査報告会〉
- 平成13年度 第10回企画展「発掘された山形の城館跡」  
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）  
 考古学セミナー「城館跡の考古学」  
 「城館跡を歩き楽しむ」 中世城郭研究会 横山 勝栄氏他5回  
 講演会「奥羽における城館跡」山形大学 伊藤 清郎氏  
 2001年山形の発掘〈調査報告会〉
- 平成14年度 第4回特別展「やまがたの縄文土器」  
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）  
 考古学セミナー「やまがたの縄文土器」  
 「縄文土器の出現と展開」 山形県教育庁 渋谷 孝雄氏他5回  
 講演会「やまがたの縄文土器」國學院大学 小林 達雄氏、東京都教育委員会  
 安孫子 昭二氏  
 2002年置賜の発掘〈調査報告会〉
- 平成15年度 第12回企画展「古代長者の世界～古志田東遺跡展」  
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）  
 考古学セミナー「平安時代の歴史と考古」  
 「平泉と出羽」 山形県立米沢女子短期大学 吉田 歆氏他5回  
 講演会「古代長者の世界～古志田東遺跡」山形大学 三上 喜孝氏、  
 米沢市教育委員会 手塚 孝氏  
 2003年置賜の発掘〈調査報告会〉

#### これまでの教育普及活動

- |      |                          |           |          |
|------|--------------------------|-----------|----------|
| 体験教室 | ・土器作り                    | ・けつ状耳飾り作り | ・縄文住居作り  |
|      | ・土面、土笛作り                 | ・編布作り     | ・土偶作り    |
|      | ・釣り針づくり                  | ・弓矢、投げ槍体験 | ・石器作り    |
|      | ・縄文料理                    | ・勾玉づくり    | ・火起こしほか  |
| イベント | ・縄文まつり（体験教室と縄文料理） 古代食まつり |           |          |
| 遺跡訪問 | ・青森県津軽地方                 | ・岩手県江刺地方  | ・福島県会津地方 |
|      | ・栃木県両毛地方                 | ・福島県いわき地方 | ・福島県白河地方 |
|      | ・新潟県中越地方                 |           |          |
|      | ・毎春秋に近隣市町の遺跡を巡検          |           |          |

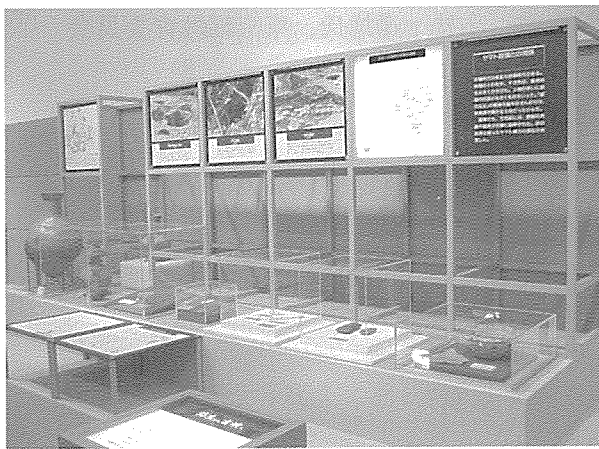
### 3. 展 示 の 概 要

#### (1) 常設展示及びテーマ展示

常設展示室は、「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳をつくる人々」の三部構成である。置賜を中心に地域の原始・古代の歴史を紹介しながら、日向遺跡をはじめ縄文時代の幕開けをつげる高畠町の国指定史跡の4つの洞窟遺跡をとりあげ、さらに縄文時代の低湿地遺跡で、縄文クッキーをはじめ、数々の木製品、彩漆土器などが出土した押出遺跡を遺物やジオラマで紹介する。そのほか豪壮な縄文中期から後期・晩期の繊細な土器の変遷が土偶や石器とともに展示されている。

これまで弥生時代に関しては、展示物も少なく古墳時代への移行がわかりにくかった。この度米沢市堂森遺跡の弥生土器、高畠町観音岩の骨針・貝輪・貝鏃など珍しい遺物や石斧などがレピアヘッドや管玉などと共に展示され弥生時代のコーナーの充実をはかった。

テーマ展示室は、古墳時代以後の歴史時代の考古遺物が並ぶ。6世紀から江戸時代までの器や信仰遺物が多い。奈良・平安時代の文字資料や硯、企画展で製作した経塚の模型も並び、一層の充実とわかりやすい展示をめざした。常設やテーマ展示であってもたえず新しい資料を提供し、関心に即した展示の工夫がなされなければならない。



弥生時代のコーナー



奈良・平安時代の文字資料



## (2) 第12回企画展

- ・テーマ 「埋められた経 こめられた願い—やまがたの経塚」
- ・開催期間 2004年10月1日～11月30日

平安時代後期からはじまった埋経の遺跡は、県内にも数多く分布する。それはいろいろ形をかえて現代も造営されている。県内で経塚の展示ははじめての試みである。展示にあたり、18の個人や機関より拝借した県内21か所の経塚遺跡から発見された経筒・外容器・伴納品・礫石経・経巻などが一堂に展示された。それに加え経塚の内部構造を示す模型を作成し、写真のパネルや解説とあわせて、日本人の信仰や心性のありかたにせまり、その変遷がわかるように留意しながら展示をおこなった。

第一部「末法の世に救いを求めて～埋経の経塚」、第二部「廻国聖の経塚～納経の経塚」、第三部「石にこめる願い～礫石の経塚」の三部構成とし、それぞれ変遷をたどることができるようにした。白鷹町笠松山経塚遺物、中山町滝経塚の紙本経、遊佐町金俣経塚の木製経筒、天童市高野坊遺跡から出土した鎌倉時代の墨書礫など、全国的にも珍しい資料は多くの方々の関心をおこした。また礫に願いや文字を書く体験コーナーももうけられた。

後述のように、開期中の11月14日に記念講演会があり、また図録「埋められた経 こめられた願い—やまがたの経塚」も発刊された。



埋経の経塚コーナー



遊佐町金俣経塚木製経筒

## 4. 教 育 普 及 活 動

### (1) 企画展記念講演会・トーク

11月14日（日） 受講者100名

第12回企画展記念講演会

#### 基調講演

「東日本の経塚の地域性」国立歴史民俗博物館 村木二郎氏

「やまがたの経塚」当館館長 川崎利夫

ト ー ク 講師と会場が一体となり、東日本・山形の経塚の特徴などを話し合った。基調講演録をうきたむ考古の会誌「うきたむ考古10号」に掲載予定。



企画展記念講演会

### (2) 体験教室

#### ① 勾玉・弓矢をつくろう

5月15日（土）・7月3日（土）・11月3日（祝） 延べ140名参加

資料館の展示を見学のあと、滑石を使って勾玉、竹を使って弓矢を作った。

#### ② ガラス玉をつくろう

6月5日（土） 7名参加

ガラスをとかし、芯棒に巻きつける方法で、古墳などから出土するガラス玉を作った。

#### ③ 柿渋染め

7月24日（土） 4名参加

柿渋で布や竹製の器などを染めた。

#### ④ 縄文土器をつくろうー野焼きのための焼物教室

形づくり 8月7日（土） 5名参加

共 催 高畠町立第三中学校 7月4日（日） 12名参加

野焼き 10月31日（日） 17名参加

#### ⑤ 拓本をとろう

12月18日（土） 10名参加

土器や瓦等を使い、拓本の技法を学んだ。

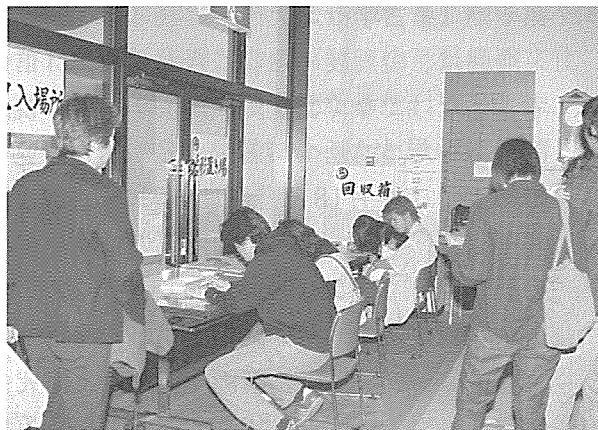
### ⑥赤ちゃん手形づくり

5月1日より5月5日まで 参加者276名

縄文時代に、子どもの健やかな成長を願って作られたと考えられる赤ちゃんの手形付土製品を、親子で楽しんで再現することを目的に実施し、4年目の開催となった。多くの参加者があり、資料館の事業として定着してきた。県内出土の手形資料を（財）山形県埋蔵文化財センターより借用し、多くの方に見ていただくことができた。



手形づくり



館内の様子

### (3) 遺跡研修

#### ①春の遺跡めぐり

5月30日（日） 参加者38名

千歳山万松寺、石行寺、成沢八幡石鳥居、松尾山観音など、山形市西部の古寺社などを訪ねた。古代に由緒を持つ寺社が、市街地からほどなくあり、残された多くの文化財を見学した。



山形市石行寺にて

#### ②秋の遺跡めぐり

10月24日（日） 参加者33名

天童市から東根市にかけての中世の面影を伝える遺跡を訪ねた。原崎の大仏、佛心寺大仏、大森磨崖仏、東の杜資料館、東根城、若宮八幡神社、与次郎稲荷などを訪ねた。当地は経塚遺跡も多く、企画展の開催とも重なり、地域における宗教と歴史について多くを学んだ。

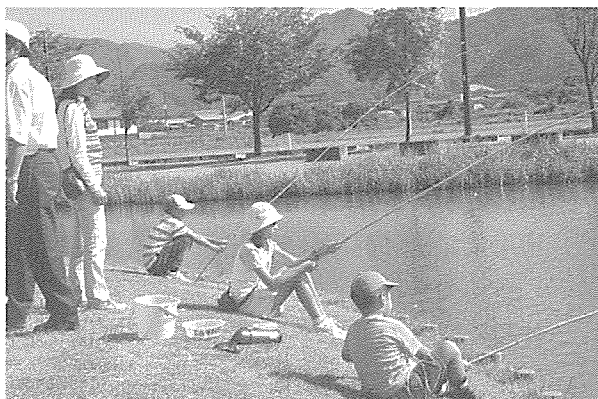
### (4) うきたむ縄文まつり

9月12日に開催 参加者330名

縄文時代のくらし・遊び・祭りを経験しながら、縄文人のおおらかな生き方を感じることをテーマに「まほろば古の里歴史公園」を会場に開催された。

○縄文体験 13:40～16:00

勾玉作り・弓矢作り・魚つりを歴史公園考古資料館付近にて行った。



魚釣り

○縄文の料理試食 17:00～

縄文クッキー・黒米おこわを試食した。

○館長ミニ講演会「縄文人の生と死」 17:30～18:00

○月見の宴 18:00～

縄文太鼓（代表 金子俊郎氏）の演奏・歌・踊り

(5) 第6期「考古学セミナー」

今回は、企画展の内容に合わせて、「信仰の歴史と考古」をテーマとして開催、学習した。考古学だけでなく、歴史・民俗学からの視点を含めての学習となり、現地研修も参加者に好評であった。 延べ177名

●第1回 7月18日『中世出羽の宗教と民衆』 講師：山形大学 伊藤清郎氏  
出羽南部の仏教を中心に、羽黒山の歴史などを概説した。

●第2回 7月25日『出羽の霊場をめぐる』  
講師：（財）山形県埋蔵文化財センター 石井浩幸氏  
講師：天童郷土研究会 村山正市氏  
山寺や川西おいたみ山などの霊場を取りあげ、その概要や背景を報告した。

●第3回 8月8日『墓をめぐる歴史考古学』 講師：東北芸術工科大学 村木志伸氏  
天童市佛向寺の墓石調査を通じて、有効な調査方法や墓石の資料化について報告した。

●第4回 8月22日『置賜霊場めぐり』 当館 川崎利夫  
現地研修  
深山観音、笠松山経塚など白鷹町に残る寺社・霊場を見学した。

●第5回 8月29日『霊場寺院をめぐる他界観』 講師：山形大学 岩鼻通明氏  
羽黒山を中心に、歴史地理学を用いた霊場の持つ思想的背景を論じた。

(6) 発掘調査検討会

①2004年置賜の発掘 調査検討会

2月20日（日） 72名参加

基調報告「2004年度山形県の発掘調査概要」山形県教育庁名和達朗氏ほか、昨年発掘調査された置賜地方4遺跡の報告・検討を行った。

※同日には、先に寄贈を受けた故柏倉亮吉山大名誉教授の資料の公開を行った。

40名参加

(7) 学校教育との連携

学校等の団体で入館を希望する場合に、来館の目的・展示説明や体験学習の有無・利用に際しての希望などを指示していただく「利用打ち合わせ書」の提出を依頼している。また、利用後には「利用評価表」の記入を依頼し、改善点の指摘などを得た。

多くの学校が、資料館と歴史公園・近隣史跡の見学を組み合わせ利用している。また、体験学習（勾玉づくり・弓矢づくり・火起し・縄文服試着等）を行い、児童・生徒の実感を伴った学習を希望するケースが多い。学校5日制の実施から2年目となり、利用が増加した昨年に比べ今年度は減少している。児童・生徒からの電話での相談も受け付けた。今後は、相

談事業を充実させ様々な形での利用を目指すとともに、考古資料の活用についてさらに検討していきたい。

(8) 学芸員実習

実習期間は8月5日(木)から8月11日(水)までとし、東北芸術工科大学、専修大学より計2名を受入れた。

実習内容は、資料館の概要・展示についての講義の他、体験学習(土器づくり)の準備や講師、収蔵資料の整理等を実技として行った。また、館外実習として(財)山形県埋蔵文化財センターが置賜地方にて行なった発掘調査現場の見学・発掘体験を行なった。

日誌などの感想からは、実物資料に触れながらの研修は良い経験になったと思われる。

(9) 「うきたむ考古の会」の事業

◎考古の会総会及び見学会 4月25日(日)

総会開催の後、高畠町糠野目地区の石仏等の見学を行った。

◎会誌「うきたむ考古」8号の発行

2002年度特別講演会 『関東東北の縄文土器』東京都教育庁 安孫子昭二氏、『世界中の縄文土器』國學院大學 小林達雄氏の講演抄他、会員による論文などを、掲載。

◎会員研修～みる・きく・ふれる遺跡の旅9～御所野縄文博物館と八戸(根城・是川)の旅  
6月26日、27日(土、日) 32名参加

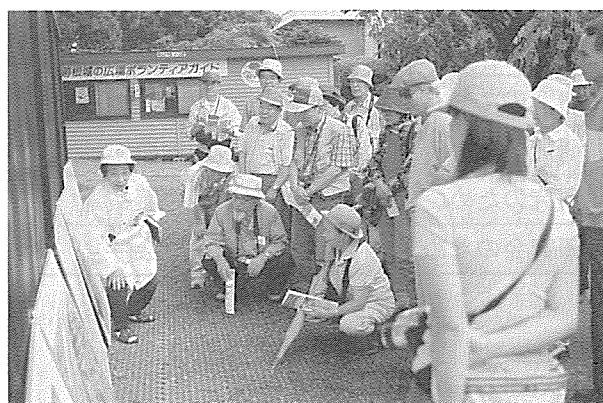
◎うきたむ縄文まつりの協力

役員をはじめとした数名の会員によって、縄文まつりの縄文体験コーナーの講師として協力を得た。

◎会員研修 成沢城・中山城見学会 7月19日(祝) 9名参加

米沢市館山城見学会 11月23日(祝) 28名参加

越後北東部・阿賀北を行く 11月28日、29日(日、月) 15名参加



遺跡の旅9 八戸市根城の広場



山形市成沢城にて

## 5. 資料の活用

### (1) 資料貸出

遺跡名	資料名	利用の理由	申請者	資料活用期間	備考
押出遺跡	炭化食物 石皿 計5点	「日本の考古－曙光の時代」に出品	文化庁	ドイツ展 16年7月24日～ 17年1月31日	
				奈良展 17年3月23日～5月8日	

### (2) 写真利用

利用資料	利用目的(印刷物等の名称)	利用者(発行者)	発行期日	部数
押出遺跡炭化食物	社会科学習副教材作成のため	青葉出版社	17年4月	30,000
押出遺跡彩漆土器	科学技術に関する科学番組のため	NHK松江放送局	16年5月15日	
押出遺跡深鉢土器	学会ポスターほか	文化財保存修復学会	16年6月	
押出遺跡炭化食物	科学技術に関する児童書	啓林館 文研出版	17年2月	10,000
押出遺跡炭化食物	おたふくソース情報誌	おたふくソース	17年3月	8,000
押出遺跡炭化食物	科学技術に関する科学番組のため	独法) 科学技術振興機構	17年3月	
安久津古墳群	文藝新書 見学できる古代遺跡	(株)文藝春秋	17年3月	

### (3) 資料館資料の特別利用

利用日時	利用資料	利用目的	利用者
16年5月20日	源福寺古墳出土品	研究のため	東北芸術工科大学
16年6月2日以後継続	町内洞窟遺跡出土品	研究のため	東北学院大学佐川研究室
16年7月17日	花ノ木遺跡、神立洞窟出土品	研究のため	明治大学石川研究室
16年10月2日	町内洞窟遺跡出土品	市史編さんのため	仙台市博物館
16年11月2日	押出遺跡出土品	研究のため	名古屋大学学生伊藤渚
16年11月18日	企画展資料ほか	研究のため	大分県教育庁埋蔵文化財センター
16年11月2日	柰代遺跡出土品	研究のため	明治大学大学院生佐藤祐輔
17年1月29・30日	三面出土品ほか	研究のため	明治大学大学院生佐藤祐輔
17年3月12日	北目古墳・山の神古墳ほか	研究会のため	古代東北北海道研究会

### (4) 刊行物一覧

平成16年4月1日から平成17年3月31日までの刊行状況は下記のとおりです。

書名	発行日
館報うきたむ23号	平成16年5月1日
第12回企画展図録「埋められた経 こめられた願いーやまがたの経塚」	平成16年10月1日
館報うきたむ24号	平成16年11月3日
2004年報	平成17年3月31日

## 6. 入館状況

### (1) 平成16年度 月別入館者一覧表

(人)

月分	有料入館者数(人)					無料入館者数(人)						計
	個人		団体		計	減免者数		視察その他		減免	計	
	一般	児童等	一般	児童等		一般	児童等	一般	児童等	児童		
4月	98	2	24	0	124	38	0	15	0	141	194	313
5月	224	12	35	0	271	905	658	12	0	140	1,715	1,986
6月	84	6	107	0	197	253	212	35	0	73	573	770
7月	101	8	51	0	160	170	155	6	6	88	425	585
8月	238	22	69	0	329	124	35	85	0	196	440	769
9月	103	14	0	0	117	144	805	77	12	107	1,145	1,262
10月	172	5	71	105	353	52	19	66	2	93	232	585
11月	124	3	144	0	271	227	69	39	1	44	380	651
12月	29	3	0	0	32	9	0	91	2	10	112	144
1月	9	0	0	0	9	2	0	9	0	2	13	22
2月	16	0	0	0	16	78	0	13	0	0	91	107
3月	32	3	0	0	35	0	0	78	0	30	108	143
計	1,230	78	501	105	1,914	2,002	1,953	526	23	924	5,428	7,342

### (2) 主な入館団体

米沢市立南部小学校、米沢市立上郷小学校、天童市立成生小学校、山形市北部公民館、米沢市立愛宕小学校、高島町立糠野目小学校、小国町立白沼小学校、高島町立和田小学校、山形県立山形盲学校、南陽市宮内公民館、小国町立沖庭小学校、高島町立時沢小学校、高島町商工会、米沢市立南原小学校、明治大学、高島町立二井宿小学校、尾花沢市子ども会、米沢立興譲小学校、高島町立第三中学校、米沢市立塩井小学校、山形県立博物館ボランティア、東置賜地区内小学校社会科部会、東北芸術工科大学、山形県立米沢商業高校、米沢市立松川小学校、山形県立長井高校、高島ライオンズクラブ、川西町立吉島小学校、川西町学校教育研修所、真室川町立差首鍋小学校、川西町立大川小学校、南陽市立赤湯小学校、東北福祉大学、東北学院大学、歴史教育者協議会、長井市伊佐沢地区公民館、孟そう句会、NHK文化センター、春日北地区協議会、学童保育たんぽぽクラブ、早稲田大学、河北郷土史研究会、天童中部公民館、亀城学区社会福祉協議会、山辺町郷土史研究会、巻町郷土資料館、常陸太田地方社会教育連絡協議会、上山市立東小学校、南陽市中川地区公民館、古代東北北海道研究会、三歴史学会合同古代史サマーセミナー

### (3) 入館者アンケート

- ・こどもにわかりやすいてんじぶつをおねがい。(置賜地方・小学生)
- ・心がどきどきした。(置賜地方・小学生)
- ・学習したと違ふことが見れて良かった。(置賜地方・小学生)
- ・わかりやすい説明文にして下さい。(置賜地方・10代女性)
- ・静か過ぎるので、音楽が欲しい。(置賜地方・70代女性)
- ・たくさん発掘されているのだから、もっと展示して欲しい。(東京都・30代女性)
- ・最上川や気候などの地域の様子がわかる展示が欲しい。(東京都・50代男性)
- ・石器や土器を間近で見れて良かった(福島県・10代女性)
- ・文字資料(パンフレットなど)が、もっと欲しい。(秋田県・30代女性)
- ・東北のこと、とても勉強になりました。(沖縄県・10代女性)
- ・今やっていることで、十分です。(千葉県・10代男性)
- ・展示の文字がもう少し大きいと、うれしいです。(青森県・30代女性)

#### 体験学習等の参加者から

##### 赤ちゃん手形作り

- ・子供の成長記念となり感激です。2人目が生まれたら、また来たいです。  
(置賜地方・20代女性)
- ・昨年に引き続き手形をとりにきました。来年も是非、やって下さい。(山形市・20代女性)

##### 勾玉・弓矢作り

- ・スタッフもとても親切で、作りやすい環境でした。道具も充実していて良かったです。  
(置賜地方・20代女性)
- ・なた、のこぎり、いろんな道具を使って楽しかったです。(置賜地方・10代男性)

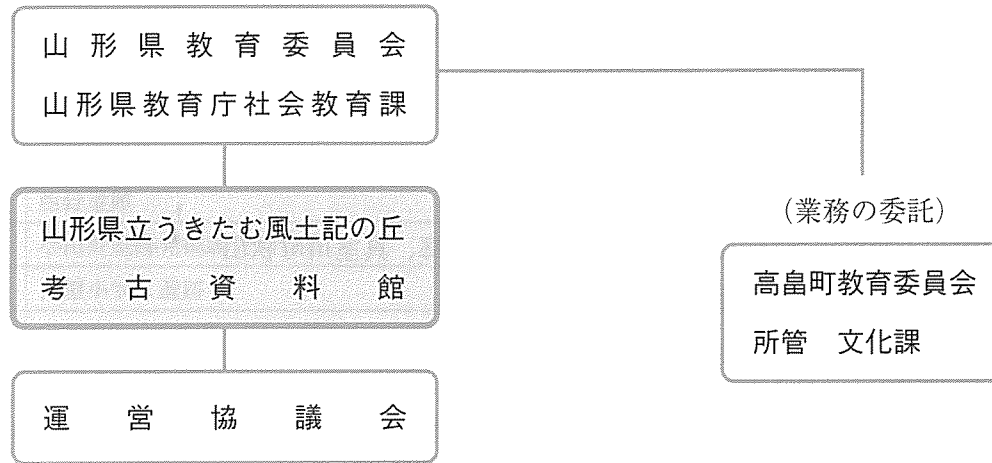
#### 学校関係者から

- ・たいへん詳しく説明いただき、子供たちも目を輝かせていました。教室を離れて「本物」を体験できたことは、とても有意義でした。(置賜地方・6年担任)
- ・本校側の都合にあわせて、短時間に効果的に熱心に指導していただきまして、ありがとうございました。(天童市・6年担任)
- ・事前の打合せ書や日程の調整など、たいへん助かりました。また、これらの一貫した対応や、当日の応対、たいへん勉強になりました。(山形市・5年担任)
- ・悪天候の中、資料館ばかりでなく周辺の遺跡まで一緒に行っていただき、ありがとうございました。その場で説明していただいたぶん、子供たちの印象に残ったようです。  
(置賜地方・4年生担任)



# 7. 管 理 及 び 運 営

## (1) 組織・職員



### 運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

氏 名	備 考
(故) 安彦好重	山形県文化財保護協会会長
村野隆男	米沢市教育委員会文化課長
沓澤晋作	財団法人山形県埋蔵文化財センター専務理事
佐藤鎮雄	高島町立高島小学校長
前田みゆき	南陽市立漆山中学校長
山崎正	高島町郷土資料館長
吉野智雄	上山市立図書館長 県文化財保護指導員

委員長 吉野智雄  
副委員長 (故) 安彦好重

## (2) 運営協議会

### 第1回

開催期日 10月27日 本館研修室

会議内容

- (1) 平成15年度考古資料館事業報告
- (2) 平成16年度考古資料館事業状況報告
- (3) その他

### 第2回

開催期日 3月2日 本館研修室

会議内容

- (1) 平成16年度考古資料館事業報告
- (2) 平成17年度考古資料館事業計画
- (3) その他

### 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員名簿

職 名	氏 名	備 考
館 長	川崎利夫	非常勤
館長代理	金子貢司	
主 事	小林貴宏	
学芸員	竹田純子	嘱託
臨時職員	小関利恵	

## 8. 受贈図書・資料

### (1) 柏倉亮吉資料

北海道札幌市柏倉氏より、95年に亡くなられた山形大学名誉教授柏倉亮吉氏が研究に用いられた資料の一部が寄贈された。寄贈された資料の中には、山形県内の古墳の研究資料（発掘調査時のメモ、図面、写真）をはじめ、近世近代資料、一部考古遺物も含まれている。現在、整理・収蔵作業を継続して行なっている。以下に主なものをあげた。

#### 考古遺物

縄文土器片：南陽市須刈田、長井市宮、南陽市梨郷、真室川町秋山

磨製石斧：飯豊町椿、中山町岡

須恵器片：上山市三千刈、中山町土橋

写真フィルム：高島町観音岩・尼子、清水前古墳、北目古墳、上山市牧野、河北町花の木遺跡など

写真プリント：高島町安久津、清水前、羽山、金原、鳥居町、亀岡、鼠持、北目、蝦夷穴、加茂山古墳 米沢市牛森、木和田古墳 南陽市赤湯大沢、上野、蒲生田、松沢、稲荷森古墳 上山市牧野遺跡 山形市衛守塚2・7・8号墳、狐山4・8号墳、鷺の森、七浦、宮町 天童市上遠塚古墳、遠矢塚古墳 東根市東根大塚古墳 村山市河島山古墳 河北町花の木遺跡 尾花沢市八幡山 鶴岡市菱津古墳など

図面：高島町木和田、鼠持、北目、金原、安久津古墳 南陽市松沢、蒲生田、二色根古墳 米沢市長手古墳 寒河江市高瀬山古墳 鶴岡市菱津古墳 ほか

その他 柏倉亮吉氏のスナップ、近世地主制に関する資料など

### (2) 佐藤庄一資料

山形県南陽市在住の佐藤庄一氏より、考古学に関連する書籍、雑誌の寄贈を受けた。寄贈された資料の中には、雑誌「置賜考古」「まんざり」、「復刻 羽陽文化（揃）」などの山形県内の文献をはじめ、雑誌「信濃（1～3次復刻揃）」や、近県の考古学雑誌が含まれる。中でも、「置賜考古」「まんざり」などは、極めて入手困難な貴重な文献であり、再評価も含めて、広く活用が望まれる。

#### 資料の保管と公開について

上記(1)(2)の資料については、整理を行なった上で、目録の作成と公開を行なう。ただし(1)については、その数量及び保存の手当も必要なことから、今後継続して取り組む。

報告書

年報類	名 称	発 行 者
1	平安京左京北辺四坊 他1	京都市埋蔵文化財研究所
2	桜井市内埋蔵文化財 1997年度、2000年度～2003年度発掘調査報告書	(財) 桜井市文化財協会
3	執行坂窯跡 羽黒町埋蔵文化財調査報告書5	羽黒町教育委員会
4	西鹿田中島遺跡発掘調査報告書(1) 笠懸町埋蔵文化財発掘調査報告13	笠懸町教育委員会
5	御所水遺跡	株盤古堂
6	西野遺跡	株アーネストワン・山武考古学研究所
7	小田野遺跡発掘調査報告書	株四門
8	打越小ザス遺跡Ⅱ	株武蔵文化財研究所
9	三奈木久保田遺跡 他8 甘木市文化財調査報告書55～63	甘木市教育委員会
10	新潟県関川村渡辺忠利氏寄贈資料の整理・収納報告	関川村教育委員会・せきかわ歴史とみちの館
11	柳之御所遺跡 岩手県文化財調査報告書118	岩手県教育委員会
12	中野高柳遺跡Ⅱ 他3 宮城県文化財調査報告書196～199	宮城県教育委員会
13	玉里の遺跡	玉里村教育委員会
14	下方正寺遺跡調査報告書 桑折町埋蔵文化財調査報告書17	桑折町教育委員会
15	波志江中屋敷遺跡 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書332	群馬県埋蔵文化財調査事業団
16	清水台遺跡 他5	郡山市教育委員会・郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団
17	佐倉城跡発掘調査報告	国立歴史民俗博物館
18	中原遺跡	佐賀県教育委員会
19	吉野ヶ里遺跡 他3 佐賀県文化財調査報告書152、154、156	佐賀県教育委員会
20	山形県埋蔵文化財発掘調査報告会資料	山形県埋蔵文化財センター
21	吉原Ⅰ遺跡 他9 山形市埋蔵文化財調査報告書9～17、19	山形市教育委員会
22	上引切遺跡 金谷郷遺跡群Ⅴ 他3 山武郡市文化財センター報告書74、77、81、82	山武郡市文化財センター
23	天神遺跡 山梨県埋蔵文化財センター調査報告97	山梨県教育委員会・山梨県埋蔵文化財センター
24	東谷遺跡 他15 滋賀県教育委員会	滋賀県教育委員会
25	中畑・谷遺跡発掘調査報告書 草津文化財調査報告55	滋賀県草津市教育委員会
26	長者屋敷遺跡・中貝遺跡	鹿瀬町教育委員会
27	千葉市坊屋敷遺跡Ⅱ	社会福祉法人 葉寿会
28	秋田市市内遺跡確認調査報告書	秋田市教育委員会
29	堀量遺跡 他7 秋田県文化財調査報告書367～374	秋田県教育委員会・秋田県埋蔵文化財センター
30	江道A遺跡発掘調査概要報告書 他1 十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書24、25	十日町市教育委員会
31	中山城跡発掘調査報告書 山形県上山市埋蔵文化財調査報告書4	上山市教育委員会
32	千葉市台畑遺跡	正福寺
33	安中坊遺跡(Ⅳ)発掘調査報告書 他1 西川町埋蔵文化財発掘調査報告書7、8	西川町教育委員会
34	三内丸山遺跡23～25 青森県埋蔵文化財調査報告書381～383	青森県教育委員会
35	稲山遺跡 発掘調査報告Ⅳ 他3 青森市埋蔵文化財調査報告書71、73～75	青森市教育委員会

36	トメト川3遺跡における考古学的調査 千歳市文化財調査報告書XXI	千歳市教育委員会
37	土木保守管理センター等埋蔵文化財調査報告書 千葉県文化財センター調査報告書306	千葉県文化財センター
38	千葉県平和公園遺跡群 I 他7	千葉県教育委員会
39	河股城跡発掘調査報告書 他1 川俣町文化財調査報告書20、21	川俣町教育委員会
40	発掘された野路岡田	草津市教育委員会
41	左沢桶山城遺跡調査報告書(6) 大江町埋蔵文化財調査報告書7	大江町教育委員会
42	脇本城跡Ⅲ 男鹿市文化財調査報告28	男鹿市教育委員会
43	会津坂下町中目経	中目経塚調査会
44	市内遺跡発掘調査報告書(12) 山形県長井市埋蔵文化財調査報告書24	長井市教育委員会
45	市内遺跡分布調査報告書(7) 山形県鶴岡市埋蔵文化財調査報告書23	鶴岡市教育委員会
46	天童市西沼田遺跡 天童市埋蔵文化財調査報告書30会	天童市教育委員会
47	多摩ニュータウン遺跡 他22	東京都埋蔵文化財センター
48	山形県高島町 高安窯跡群 東北芸術工科大学考古学研究報告3	東北芸術工科大学考古学研究室
49	栃平B遺跡・古館遺跡 他5 栃木県埋蔵文化財調査報告書279～284	栃木県教育委員会
50	西中野遺跡発掘調査報告書	八王子市・八王子市教育委員会
51	城山遺跡 他1	浜松市文化協会・浜松市博物館
52	勝雄経塚 兵庫県文化財調査報告158	兵庫県教育委員会
53	遺跡詳細分布調査報告書 米沢市埋蔵文化財調査報告書80	米沢市教育委員会
54	大塚山遺跡発掘調査報告書 米沢市埋蔵文化財調査報告書81	米沢市教育委員会
55	成島古墳群1号墳調査報告書 米沢市埋蔵文化財調査報告書82	米沢市教育委員会
56	館山城跡測量調査報告書 米沢市埋蔵文化財調査報告書66	米沢市教育委員会
57	溝口遺跡	木曾福島町教育委員会
58	八卦遺跡 他2 雄物川町文化財調査報告書5～7	雄物川町教育委員会
59	野尻(4)遺跡 浪岡町埋蔵文化財緊急発掘調査報告書10	浪岡町教育委員会

#### 単行本

1	新しい近現代史研究へ	総研大 日本歴史研究専攻・国立歴史民俗博物館
2	揺らぐ考古学の常識	総研大 日本歴史研究専攻・国立歴史民俗博物館
3	藻岩山の観音さま	社団法人 北方林業会
4	千歳のしらべ	阿古耶書房
5	手わざ逍遥	山形県生涯学習文化財団
6	図説 山形の歴史と文化1	山形市教育委員会
7	考古学に歴史を読む	同志社大学歴史資料館

#### 調査資料

1	北向遺跡	山形県埋蔵文化財センター
2	山形城三の丸跡 第2次	山形県埋蔵文化財センター
3	向河原遺跡 第5次	山形県埋蔵文化財センター

4	梅野木前1遺跡	山形県埋蔵文化財センター
5	川前2遺跡 第2次	山形県埋蔵文化財センター
6	飛泉寺跡遺跡 第3次	山形県埋蔵文化財センター
7	茗ヶ山遺跡	山形県埋蔵文化財センター
8	堀端遺跡	山形県埋蔵文化財センター
9	埴ノ上遺跡	山形県埋蔵文化財センター
10	高蹴遺跡	山形県埋蔵文化財センター
11	助作遺跡 第3次	山形県埋蔵文化財センター
12	西山遺跡	山形県埋蔵文化財センター
13	百刈田遺跡	山形県埋蔵文化財センター
14	小平4遺跡	山形県埋蔵文化財センター
15	泉廃寺跡	原町市教育委員会
16	米沢城跡 第3次	山形県埋蔵文化財センター

## 図録

1	“魂”の風狂画人 服部二柳展	(財) 致道博物館
2	村上節太郎がとらえた昭和愛媛	愛媛県歴史文化博物館
3	園部の仏教文化	園部文化博物館
4	くらしの中の着物	園部文化博物館
5	ベリー来航と東京湾	横浜市歴史博物館
6	製造元祖 横浜風琴洋琴ものがたり	横浜市歴史博物館
7	特別展 鎌倉御家人 平子氏の西遷・北遷	横浜市歴史博物館
8	定住のはじまり 下関市立考古博物館	下関市立考古博物館
9	河内古市古墳群 峯ヶ塚古墳 概報	株吉川弘文館・羽曳野市教育委員会
10	当麻石光寺と弥勒仏 概報	株吉川弘文館・奈良県立橿原考古学研究所
11	上淀廃寺と彩色壁画 概報	株吉川弘文館・淀江町教育委員会
12	土の中からでてきたよ	株平凡社
13	「遺物たちの帰郷」展 図録	宮崎県立西都原考古博物館
14	日韓交流展「それでも騎馬文化はやってきた」	宮崎県立西都原考古博物館
15	宮崎県立西都原考古博物館 コンセプトブック	宮崎県立西都原考古博物館
16	人と技術	京都府立丹後郷土資料館
17	霞ヶ浦の弥生土器	玉里村立史料館
18	地方王権の誕生	玉里村立史料館
19	宇城語	熊本県立装飾古墳館
20	第10回市内遺跡発掘調査成果展	郡山市教育委員会・郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団
21	土佐国分寺	高知県立歴史民俗資料館
22	土佐国 石塔・石仏巡礼 I	高知県立歴史民俗資料館
23	続・少し昔のくらしの道具	高島町郷土資料館
24	明治維新と平田国学	国立歴史民俗博物館
25	海をわたった華花	国立歴史民俗博物館
26	国立歴史民俗博物館 要覧	国立歴史民俗博物館
27	民衆文化とつくられたヒーローたち-アウトローの幕末維新史	国立歴史民俗博物館
28	佐賀城本丸歴史館 展示案内	佐賀県立佐賀城本丸歴史館

29	「古代人が見た鳥」展	桜井市文化財協会
30	城島遺跡－これまでの調査とその成果－	桜井市文化財協会
31	縄文の女神	山梨県立考古博物館
32	戦国・安土桃山の造像	滋賀県立安土城考古博と物館
33	影の戦士たち	滋賀県立安土城考古博物館
34	日は人作り、夜は神作る－前方後円墳の出現と展開	滋賀県立安土城考古博物館
35	オリエント文化点	秋田県立博物館
36	秋田県立博物館 展示図録	秋田県立博物館
37	越後佐渡の古代ロマン	新潟県立歴史博物館
38	陸奥国最前線	盛岡市遺跡の学び館
39	縄文の彩華－中期の技と美－	盛岡市遺跡の学び館
40	石と鉄の考古学	仙台市富沢遺跡保存館
41	東国の終末期古墳	千葉県教育委員会・千葉県立房総風土記の丘
42	中世房総やきもの市場	千葉県立房総のむら
43	いにしえびと 祈りの顔	千葉県立房総風土記の丘
44	アイヌ民族の美の世界 土佐林コレクションに見る	早稲田大学會津八一記念博物館・早稲田大学文学部考古学研究室
45	蝦夷錦と北方交易 改訂版	総合博物館 青森県立郷土館
46	大阪府立近つ飛鳥博物館要覧	大阪府立近つ飛鳥博物館
47	旬夏秀陶 関西編	大阪府立近つ飛鳥博物館
48	今来才伎	大阪府立近つ飛鳥博物館
49	古墳から奈良時代墳墓へ	大阪府立近つ飛鳥博物館
50	善光寺道	長野県立歴史観
51	中世信濃武士意外伝	長野県立歴史館
52	天童の将棋駒と全国遺跡出土駒	天童市将棋資料館
53	土浦藩医 辻元順 からだとところをいやす	土浦市立博物館
54	播磨國風土記	島根県立八雲立つ風土記の丘
55	東京国立博物館所蔵 板碑集成	東京国立博物館
56	福よ来い	東北歴史博物館
57	東北発掘ものがたり2	東北歴史博物館
58	律令国家の展開	栃木県教育委員会・栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
59	水戸光圀公の考古学	栃木県教育委員会・栃木県立なす風土記の丘資料館
60	小・中学生における博物館利用の手引き	栃木県立博物館友の会
61	上杉鷹山	米沢市上杉博物館
62	城下町の光景	米沢市上杉博物館
63	アートするところ 後藤克芳の世界	米沢市上杉博物館
64	洛中洛外図 暮らし	米沢市上杉博物館
65	どきどきの杜 博物館へ行こう！	米沢市上杉博物館
66	戦う上杉氏	米沢市上杉博物館
67	北上地方の水田開発史（中編）	北上市立博物館
68	修験道資料展－明王像その祈り－	北上市立博物館
69	土に眠る和鏡	名古屋市見晴台考古資料館

70	特別展 地びき網漁の生活	和歌山県立紀伊風土記の丘
71	職人町 漆器の黒江	和歌山県立紀伊風土記の丘
72	紙すきの山里	和歌山県立紀伊風土記の丘
73	紀州・移動する職人たち	和歌山県立紀伊風土記の丘
74	特別展 紀南の古墳文化	和歌山県立紀伊風土記の丘資料館
75	特別展 木製品と人々の暮らし	和歌山県立紀伊風土記の丘資料館
76	特別展 きのかにの銅鐸	和歌山県立紀伊風土記の丘資料館

## 目録

1	資料目録 14	東京都埋蔵文化財センター
2	大石田町立歴史民俗資料館史料集 第九集	大石田町教育委員会
3	仙台市博物館収蔵資料目録 12	仙台市博物館
4	国史跡仙台北城跡 仙台市文化財パンフレット第51集	仙台市教育委員会文化財課
5	史跡陸奥国分寺・国分尼寺跡 仙台市文化財パンフレット52	仙台市教育委員会
6	史跡岩切城跡と周辺の遺跡 仙台市文化財パンフレット53	仙台市教育委員会
7	民俗資料目録 三重県立博物館収蔵資料目録	三重県立博物館
8	戦争体験の記録と語りに関する資料調査1・2	国立歴史民俗博物館
9	水木家史料目録 国立歴史民俗博物館資料目録[3]	国立歴史民俗博物館
10	博物館に関する基礎資料	国立教育政策研究所・社会教育実践研究センター
11	岩手県立博物館収蔵資料目録 第17集	岩手県文化振興事業団
12	武州金沢藩（六浦藩）関係史料集 I	横浜市歴史博物館
13	横浜市歴史博物館資料目録 第11集、第12集	横浜市歴史博物館
14	西田栄氏調査研究資料目録 愛媛県歴史文化博物館目録11	愛媛県歴史文化博物館

## 年報

1	年報 平成15年度	(財) 岩手県文化振興事業団
2	要覧 平成15年度	(財) 北海道開拓の村
3	年報 平成15年度	愛媛県歴史文化博物館
4	年報 第5号	浦幌町立博物館
5	園部文化博物館報 第4号、第5号	園部文化博物館
6	下関市立考古博物館年報 9	下関市立考古博物館
7	甘木市文化財年報 平成13、14年度	甘木市教育委員会
8	岐阜県博物館報 第27号	岐阜県博物館
9	宮崎県総合博物館年報 平成15年度	宮崎県総合博物館
10	玉里村立史料館報 vol.9	玉里村立史料館
11	九州歴史史料館年報 平成15年度	九州歴史資料館
12	年報 第23号	広島県立歴史民俗資料館
13	高知県立歴史民俗資料館年報 No.13	高知県立歴史民俗資料館
14	佐賀県立博物館・美術館報 第131号、第132号	佐賀県立博物館・美術館
15	(財) 横浜市ふるさと歴史財団年報 平成14年度版	(財) 横浜市ふるさと歴史財団
16	資料館報 No.35	埼玉県さきたま資料館
17	山形県立博物館館報 平成15年度実績	山形県立博物館
18	山形市埋蔵文化財調査年報 平成5～13年度	山形市教育委員会

19	市立市川考古博物館館報 第30号、第31号	市立市川考古博物館
20	年報 平成15年度	滋賀県立安土城考古博物館
21	鹿児島大学埋蔵文化財調査室年報 17、18	鹿児島大学埋蔵文化財調査室
22	年報 22	秋田県埋蔵文化財センター
23	秋田県立博物館年報 平成16年	秋田県立博物館
24	秋田城跡調査事務所年報2003	秋田市教育委員会・秋田城跡調査事務所
25	松戸市立博物館年報 第11号	松戸市立博物館
26	新潟県立歴史博物館年報 第3号	新潟県立歴史博物館
27	特別史跡三内丸山遺跡年報 7	青森県教育委員会
28	青森県立郷土館報 第31号	青森県立郷土館
29	青森県立郷土館調査研究年報 第28号	青森県立郷土館
30	仙台市博物館年報 第31号	仙台市博物館
31	地底の森ミュージアム年報 第8号	仙台市歴史文化事業団・仙台市富沢遺跡保存館
32	千葉県立房総風土記の丘年報 25、26	千葉県立房総のむら
33	埋蔵文化財調査センター年報 16	千葉市教育振興財団・埋蔵文化財調査センター
34	草津市文化財年報 XI	草津市教育委員会事務局
35	大分県立歴史博物館 2003	大分県立歴史博物館
36	NKH 長岡市立科学博物館報	長岡市立科学博物館
37	年報 No.6	長野県立歴史館
38	土浦市立博物館年報 第16号	土浦市立博物館
39	東海大学社会教育センター年報 31	東海大学社会教育センター
40	東京都埋蔵文化財センター年報 24	東京都生涯学習文化財団・東京都埋蔵文化財センター
41	年報 平成15年度	東北歴史博物館
42	同志社大学歴史資料館館報 第7号	同志社大学歴史資料館
43	栃木県埋蔵文化財保護行政年報 26	栃木県教育委員会
44	なす風土記の丘資料館年報 第11号	栃木県教育委員会
45	館報 第1号	苦小牧市博物館
46	浜田広介記念館館報 第6号	浜田広介記念館
47	年報 13	富山県「立山博物館」
48	館報 平成15年度	福井県立若狭歴史民俗資料館
49	米沢市上杉博物館年報 vol.15、vol.16	米沢市上杉博物館
50	名古屋市見晴台考古資料館年報 21	名古屋市見晴台考古資料館
51	紀伊風土記の丘年報 第24号～第30号	和歌山県立紀伊風土記の丘
52	齋藤茂吉記念館年報 第19号	齋藤茂吉記念館

#### 論文等

1	乾燥堅果類備蓄の歴史的展開	名久井文明
2	我がふるさとの古代史論文集 第1集～第3	竹田哲太郎

#### その他

1	史談 20号	白鷹町史談会
2	白鷹町の石造文化財 荒砥地区	白鷹町石造文化財研究会・白鷹町教育委員会
3	天然記念物 チョウセンアカシジミについて	白鷹町教育委員会



4	市民文化財研究員活動報告書 8	仙台市歴史文化事業団・仙台市富沢遺跡保存館
5	歴史と考古 創刊号	いいで歴史考古の会
6	見晴台教室 '03	名古屋市見晴台考古資料館
7	坂水の八幡神社	板碑再建立者一同・加藤和徳
8	福島県経塚検討会 H16.4.17	福島県文化財センター白河館
9	「鉄づくり今昔」記念講演会の記録 第11回千葉県立美術館・博物館合同企画展	千葉県立房総風土記の丘
10	国立博物館ニュース縮刷版 501号～646号	東京国立博物館
11	使命・計画作成の手引き 博物館の望ましい姿シリーズ1	(財) 日本博物館協会
12	資料取り扱いの手引き 博物館の望ましい姿シリーズ2	(財) 日本博物館協会
13	博物館における高齢者を対象とした学習プログラムの開発	(財) 日本博物館協会
14	上越市史 別編1、2	上越市・上越市史編さん委員会
15	桜井市の小学校の発掘調査 がっこうの下に何があったの？	(財) 桜井市文化財協会
16	山辺町史 上巻	山辺町・山辺町史編纂委員会
17	綾瀬市史5 通史編 原始・古代	綾瀬市
18	山形の方言と文化 報告「山形学」シンポジウム'03	(財) 山形県生涯学習文化財団

## 紀要

1	元興寺文化財研究 No.84、85	(財) 元興寺文化財研究所
2	研究連絡誌 第66号	(財) 千葉県文化財センター
3	アメリカ・イギリスにおける博物館評価の状況に関する報告書	(財) 日本博物館協会
4	愛媛県歴史文化博物館研究紀要 第9号	愛媛県歴史文化博物館
5	一関市博物館研究 第7号	一関市博物館
6	浦幌町立博物館紀要 第4号	浦幌町立博物館
7	横浜市歴史博物館紀要 第7号	横浜市歴史博物館
8	研究紀要 第8号	下関市立考古博物館
9	アルカ研究論集 第2集	㈱アルカ
10	岩手県立博物館研究報告書 第21号	岩手県立博物館
11	古代「えみし」社会の成立とその系統的位置付け 岩手県立博物館調査研究報告書第18冊	岩手県立博物館
12	岐阜県博物館調査研究報告 第25号	岐阜県博物館
13	宮崎県総合博物館研究紀要 第25輯	宮崎県総合博物館
14	宮崎県総合博物館総合調査報告書 霧島山動植物	宮崎県総合博物館
15	研究紀要 21、22	群馬県埋蔵文化財調査事業団
16	研究紀要 第4集	広島県立歴史民俗資料館
17	高知県立歴史民俗資料館 研究紀要 第13号	高知県立歴史民俗資料館
18	国立歴史民俗博物館研究報告 第109集～120集	国立歴史民俗博物館
19	調査研究報告 第17号	埼玉県さきたま資料館
20	研究紀要 第2号	山形県埋蔵文化財センター
21	山形県立博物館研究報告 第23号	山形県立博物館
22	紀要 第12号	滋賀県立安土城考古博物館
23	博物館職員の研修に関する調査研究報告書	社会教育計画研究会
24	秋田県立博物館研究報告 第29号	秋田県立博物館

25	松戸市立博物館紀要 第10号、第11号	松戸市立博物館
26	仙台市博物館調査研究報告 第24号	仙台市博物館
27	貝塚博物館紀要 第31号	千葉市立加曽利貝塚博物館
28	早稲田大学 會津八一記念博物館研究紀要 第5号	早稲田大学會津八一記念博物館
29	大手前大学史学研究所紀要 第3号、第4号	大手前大学史学研究所
30	大分県立歴史博物館 研究紀要 5	大分県立歴史博物館
31	長野県立歴史館研究紀要 第10号	長長野県立歴史館
32	土浦市立博物館紀要 第14号	土浦市立博物館
33	海・人・自然 東海大学博物館研究報告	東海大学社会教育センター
34	東京国立博物館紀要 第38号、第39号	東京国立博物館
35	MUSEUM No.583~591	東京国立博物館
36	研究論集 XX	東京都埋蔵文化財センター
37	東北芸術工科大学紀要 No.11	東北芸術工科大学
38	最上川文化研究 2	東北芸術工科大学東北文化研究センター
39	保存と修復 東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター紀要 vol.12004	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
40	東北歴史博物館研究紀要 5	東北歴史博物館
41	富山県「立山博物館」研究紀要 第11号	富山県立山博物館
42	名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第6号	名古屋市見晴台考古資料館
43	明治大学博物館研究報告 第9号	明治大学博物館事務局
44	國學院大學博物館學紀要 第28輯	國學院大學博物館研究室

## 学術

1	縄文ジャーナル vol.3、4、5	国際縄文学会
2	羽陽文化 第148号	山形県文化財保護協会
3	郷土てんどう 第32号	天童郷土研究会
4	真澄学 第一号	東北芸術工科大学 東北文化研究センター
5	季刊 東北学 第二号	東北芸術工科大学 東北文化研究センター
6	米沢史学 第20号	米沢史学会
7	歴史地理教育 668号、669号、677号	歴史教育者協議会

## 9. 日 誌 抄

- 4 / 1 辞令交付式 新年度開始
- 4 / 14 歴史公園安全祈願祭
- 4 / 25 うきたむ考古の会 役員会 総会 遺跡見学会
- 5 / 1 ~ 5 「赤ちゃんの手形づくり」開催 (276名参加)
- 5 / 1 館報「うきたむ」23号発行
- 5 / 15 体験教室「勾玉・弓矢づくり」 (140名参加)
- 5 / 30 春の遺跡めぐり 「山形市東部の古寺をめぐる」 (38名参加)
- 6 / 5 体験教室「大昔のアクセサリー、ガラス玉をつくろう」 (7名参加)
- 6 / 26 ~ 27 「みる・きく・ふれる遺跡の旅」 岩手・青森県方面 (32名参加)
- 7 / 3 体験教室「勾玉・弓矢づくり」 (50名参加)
- 7 / 4 高島三中土器づくり学習 12名
- 7 / 18 ~ 8 / 29 5回にわたる考古学セミナー テーマ「信仰の歴史と考古」  
講師 伊藤清郎・石井浩幸・村山正市・村木志伸・川崎利夫・岩鼻通明の各氏  
(延べ177名受講)
- 7 / 24 体験教室「柿渋染め」 (4名参加)
- 8 / 5 ~ 11 博物館学芸員実習 (2名)
- 8 / 7 体験教室「野焼きのための焼き物教室」 10 / 31野焼き教室 (延べ22名参加)
- 9 / 12 第12回うきたむ縄文まつり 縄文体験 月見の宴 (約300名参加)
- 10 / 1 第12回企画展「埋められた経 こめられた願いーやまがたの経塚」開催  
11月30日まで
- 10 / 24 秋の遺跡めぐり 「天童東部と東根の中世を訪ねる」 (33名参加)
- 10 / 27 本館運営協議会
- 11 / 3 文化の日無料入館日 (136名入館)  
体験教室「勾玉・弓矢づくり」 (27名参加)、館報24号発行
- 11 / 14 企画展講演会 講師：村木二郎氏、川崎利夫 (100名受講)
- 12 / 18 体験教室「拓本をとろう」 (10名参加)
- 2 / 20 置賜の遺跡調査検討会 (午後) (72名参加)  
柏倉亮吉教授遺品公開 (スポット行事 午前) (40名参加)
- 3 / 2 本館運営協議会
- 3 / 12 東北北海道土器研究会 (会場資料提供)

## 10. 利 用 案 内

- ◆交通案内 JR高島駅よりタクシーで15分  
JR高島駅より自転車ですら40分  
※高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります。
- ◆開館時間 4月1日～10月31日／AM9：00～PM4：30  
11月1日～3月31日／AM9：30～PM4：30
- ◆休館日 月曜日、国民の祝日  
(こどもの日と文化の日は、無料で開館します。)  
年末年始(12月28日～1月4日まで)  
大型連休中は、臨時開館の場合があります。  
燻蒸作業等のため臨時休館の場合があります。
- ◆入館料金 一般200円(150円)、学生{大学生以上}100円(70円)、小中高 無料  
( )は、20名様以上の団体料金
- ◆入館料の減免 次の基準により減免(無料入館)します。
1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する。
  2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、各号の一つに該当する者とする。
    - (1)教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
    - (2)その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者※上記の2の入館料の減免を受けようとする方は、入館料減免申請書を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。
  - (3)身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、その付添い人。
- ◆収蔵図書の利用  
資料館に収蔵されている図書(県内等の報告書、各地特別展図録、体験学習資料他)の閲覧等利用することが出来ます。図版や写真の多い資料もございますので、是非ご利用ください。  
利用時間、休館は考古資料館と同様です。図書資料のみのご利用には入館料はかかりません。  
詳しくは事務室までお問い合わせ下さい。

# 考古資料館利用の手引き

考古資料館では、小学生から社会人の方までを対象とした様々な学習活動のお手伝いをしております。ご希望の際は、下記項目及び後記打合せ書をご参考に、当館まで事前にご相談ください。(ただし、諸般の事情によりご希望に添えない場合もございます)

- ◆**展示説明** 当館職員が展示をご説明します。また、実物の資料、復元物に触れたり、収蔵しているパネルを使ってのご説明もいたします。
- ◆**歴史公園を歩く** 当館を含む「まほろば古の里歴史公園」内には、復元された古墳や竪穴式住居、古代米の棚田などが整備されており、こちらをご案内します。
- ◆**遺跡案内** 当館周辺には、日向洞窟（国史跡）や清水前古墳、金原古墳など多くの遺跡があります。こちらを現地でご案内します。
- ◆**体験学習** 古代の技術を体験し、当時の人々の生活を学ぶこともできます（メニュー参照）。その他体験したいことがございましたら、ご相談に応じます。

メニュー	内 容	所 要 時 間	人 数	材 料 費
勾玉づくり	滑石という柔らかい石で勾玉を作ります。	2時間	40名	100円
火おこし	ひもぎり式という摩擦を利用した古代以来の方法で、火を起こします。	30分	30名	無料
弓矢づくり	竹を利用して、弓矢を作ります。	2時間	10名	100円
土器・土偶 土笛づくり	市販の粘土を野焼き用に調整し、形を作り、縄文の紋様などをつけて、野焼きします。	延べ2日 (成形日・野焼き日)	20名	500円
編み布 (あんぎん) づくり	古代以来の編み具を使って、10cm四方程度の編み布（コースター）を作ります。	2時間	10名	100円

# 県立考古資料館利用打合せ書

この度は、当館をご利用いただきましてありがとうございます。当館の利用につきまして下記の打合せ書を当館までいただきますよう、よろしくおねがいたします。

利用団体名			
学 年	年	引率者・代表者	
人 数	大人 小人	名 名	
日時・所要時間	月	日	: ~ :
実施内容	遠足・社会科見学・総合的な学習・クラブ活動・親子行事・PTA行事・その他（ ）		
来館のねらい			
説明	館内・歴史公園内・近隣史跡（日向洞窟・金原古墳ほか）		
職員の説明の際に強調を希望する点	無・有（旧石器・縄文・弥生・古墳・古代中世学校近辺の遺跡・当館周辺の遺跡・洞窟遺跡・押出遺跡）		
使いたい資料	無・有（実物・パネル等・復元縄文衣服） その他 { }		
研修室利用	希望しない・希望する（学習のため・雨天時昼食のため）		
利用にあたって希望すること（体験学習等）	体験：勾玉づくり・火おこし等		
交通手段	貸切バス・路線バス・自家用車・レンタサイクル・徒歩・その他（ ）		
当日に利用する他の施設・史跡等			

\*総合学習でご利用いただく場合は、これまでの経過・ご利用になった他の施設・機関等をお教え下さい。日程表・開催概要等がございましたら、こちらを送付ください。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 〒992-0302 東置賜郡高島町大字安久津2117  
TEL 0238-52-2585 FAX 0238-52-4665

# 2004／年報

平成17年（2005年）3月31日 印刷・発行

編集発行 〒992-0302

山形県東置賜郡高畠町大字安久津2117

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

T E L 0238 (52)2585

F A X 0238 (52)4665

アドレス：122@town.takahata.yamagata.jp

印 刷 カトヤ印刷





